「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート(A: 裁量有)

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

≢	業	纟名 称				三輪?	ドロ党	生活さ	援事業費	٦ ٠	駅 刍	選報 >	ノステノ	(事業]			
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	款	3	 民生費			1	社会福祉		利目	3			Т	事業番号	} 4
				<u> つ </u> 市単独		<u>₹ </u>	<u> </u>								:n)	尹禾田:	9 4
	事業の種別 □ 市単独 担当部署・課長名										317546		課長名			 崇	
							高齢福祉 係				-,		アジム				
ر0)	この仕事は、どの【施策】の記)課題を解	を解決するための手段です							策番号	2		2	
【施	:策名	名】 高齢を		建福祉	の推進	推進							総	合 計 画 書 (ページ)		51	
					しています					 1 ●の対象数や量を、あ 			あられ	すもの(対象	指標	()	
					び高齢者のみ ク日常生活を				不明								
		を要する状態															
	_																
1					大態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)								
$\overline{}$	緊急事態におけるひと するとともに、生活の要				ひとり暮らし高齢者等の不安を解消 の安全を確保する。				緊急通報システム機器設置世帯数								
\mathcal{O}																	
仕事																	
の	€	マのため	ソニカ	 友 .:	ましたか。				3 3 8	Ω"لر:	1661	.)行.)	‡ .t=	か(活動指標	<u> </u>		
目的	_				まりにが。 清希望があっ	 った場合、i	担当区	域						-7. (点動指標 影数(既設分→		分一廃」	上分)
הח	の高	高齢者ほって	と支援	夏センタ	ター相談員た センターに J	が自宅訪問し	し、対	象	711212	,,,,	.,,				17102	~,S ,,,,	_,_,
	て、	市は内容の	確認を	を行い、	利用承認の	の可否を決定	定する										
)上、委託業者と日程調整 器を設置する。											
				単位	過去2年間(手間の第	引の実績		当該年度		成馬		果目標			
					半世	平成29年	度実績	平成	30年度実績	į	平成3	1年度	実績	令和2年度目標	票	令和3年	度目標
2	ŢŹ	対象指標		の数値		平成29年	度実績 不明		30年度実統 不E	+	平成3	1年度	実績 不明	令和2年度目标	票	令和3年	度目標
				<u> </u>	人	既設	不明	3	不E 既設 1	3	平成3	既設	不明		票	令和3年	度目標
指標		対象指標		の数値の数値	人		不明 2 13 3 C	3	不E 既設 1 新設	月	平成3		不明 : 9 : 0		票	令和3年	度目標
指標の			2	<u> </u>	· 人 · 件	既設新設	不明 2 13 3 C	3	不E 既設 1 新設	明 3 O		既設 新設 撤去	不明 : 9 : 0			令和3年) 新設 1	7
指標の推発		找果指標	2 2 目標	の数値 の関標(の目標(値設定	人 件 作 作 で で で で で で で で	既設新設	不明 2 13 2 C	33 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0	既設 1 新設撤去	月 3 0 4	新	既設 新設 撤去 1設 Oi	不明 : 9 : 0 : 6 徹去O	新設 1撤去			7
指標の	尼	找果指標	2 2 目標	の数値 の関標(の目標(値設定	人 件 作 作 で で で で で で で で	既設新設	不明 2 13 2 C	33 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0	既設 1 新設撤去	月 3 0 4	新	既設 新設 撤去 1設 Oi	不明 : 9 : 0 : 6 徹去O				7
指標の推発	成 E	找果指標	[20] 目標 ひと	の数値 の関標(の目標(値設定	人 件 件 作 できる方 できる方 できる方 できる方 できる方 できる方 できる方 できる できる	既設新設	不明 2 13 2 C	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	既設 1 新設 撤去	月 3 0 4	新	既設 新設 撤去 1設 Oi	不明 : 9 : 0 : 6 徹去O	新設 1撤去			7
指標の推発		成果指標 目 標 5動指標	2 目標 ひと	の数値の数値値設定の り暮ら	人 件 件 作 できる方 できる方 できる方 できる方 できる方 できる方 できる方 できる できる	既設新設を	不明 设 13 设 C 安全を研	3 3)))))) () () ()	既設 1 新設 撤去	明 3 0 4 目 4 9	新	既設 新設 撤去 行設 Of	不明 906 徹去O	新設 1撤去	\$0	新設 1	撤去〇
指標の推発	月日	成果指標 目 標 5動指標	2 目標 ひと	の数値 の数値 の数値 の数値	は 人 件 値 件 での考え方 し 一 の 参 者等 世帯	既設 新設 撤去 の生活の安	不明 2 13 2 C 3 C 7 C	確保する	既設 1 新設 撤去	明 3 0 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	新	既設 新設 撤去 f設 Of	不明 : 9 : 6 徹去O よう目は 3	新設 1 撤送票に設定した。※人件費の所要。「人」で表わしる	人数はか	新設 1	撤去のはは、は、は、は、は、は、は、は、なけ事に
指標の推発	月月月月日	成果指標 目 標 5動指標 事 業 費	2 目標 ひと	の数値 の数値 の数値 の数値	人 件 件 作 で	既設 新設 撤去 の生活の安 191 131	不明 设 13 设 CS CS CS T全を配 13	確保する	不能 既設 1 新設 撤去 3ため、利	用者数 9 2 2	新	既設 新設 撤去 行設 Of 寺する。 185	不明 906 放去O よう目は 3778 ,778	新設 1 撤去 票に設定した。 ※人件費の所要。 「人」では時間数 その場合単位を	し	新設 1	撤去のははいます。
指標の推移 3	月日		2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	の数値 の数値 の数値 の数値	人 件 件 件 で で で で で で で	既設 新設 撤去 の生活の安 191 131	不明 2 13 2 C 2 C 2 C 3	語 () () () () () () () () () (無設 1 新設 撤去 3ため、利 201,35 144,35 57,00	用者数 9 2 2	新	既設 新設 撤去 行設 Of 寺する。 185	不明 906 放去O よう目は 3778 ,778	新設 1 撤送 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	SO 人まで「 はが表で の時	新設 1	撤去のははいます。
指標の推移 3経			2 目標 ひと 3 う	の数値 の数値 値設定 り暮ら の数値 実績)	人 件 件 件 方 5 し 高齢者等 円 円 円 円 円 円 円 円 円	既設 新設 撤去 の生活の安 191 131	不明 2 13 2 全を配 13 ,328 ,328	確保する	無設 1 新設 撤去 3ため、利 201,35 144,35 57,00	明 3 0 4 4 9 2 2 2 0	新	既設 新設 撤去 行設 Of 寺する。 185	不明 : 9 : 6 徹去O よう目は ,778 ,778	新設 1 撤送 (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述)	50	新設 1 新設 1 基本的的 示して変更し 以外) 0,000 円	撤去のははいます。
指標の推移 3		成果指標 動指標 事 業 事 一般財源 特定財源 所要人数(うち) 所要人数(1)	② ② 日標 ひと 3 3 3 5 5 受益 再任 月 任 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	の数値 の数値 値設を の数値 実績) 記者負担 用)	人 件 件 件 内 円 円 円 円 人 人	既設 新設 の生活の安 191 131 60	不明 大明 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇	部 (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	不能 既設 1 新設 撤去 3ため、利 201,35 144,35 57,00	明 3 3 0 4 4 9 9 2 2 2 0 0 0	新	既設新設表 行設 Of 寺する。 185 117 68	不明 (((((((((((((((((((新設 1 撤去 新設 1 撤去 票に設定した。 ※ 人件 費では時単 の の の わ の は の の の い は の の の い は の も の は の で は 時間 単価 し て の い で 計算 単価 し て で 計算 単価 し て の い へ い で い で い で い で い く が で い で い く が で い く が で い か		新設 1 基本的に 、示も可要し の、〇〇〇〇円 30〇円	撤去のにはますくだ
指標の推移 3経		成果指標 手 事 一般財源 特定財源 所要人 所要人 所職員人件事	② 目標できる 3 3 5 5 受益 再任所 再任所 日 日 日 日 日 日 日 日 日	の数値 の数値 の数値 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	人 件 件 件 方 等 円 円 円 円 円 円 円 円 円	既設 新設 の生活の安 191 131 60	不明 2 13 2 C 2 全を配 13 ,328 ,328 ,328 0,000 0.1	部 (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	不能 既設 1 新設 撤去 3ため、利 201,35 144,35 57,00	明 3 3 0 4 4 9 9 2 2 2 0 0 0	新	既設新設表 行設 Of 寺する。 185 117 68	不明 9006 (放去O) よう目 よう目 3,778 3,778 0,000 0.1	新設 1 撤去 新設 1 撤去 宗に設定した。 ※人件費の所わり間を ※人人」では合単 のいる。 をさい人件間単価は、 年間単価は、	SO	新設 1 (大)	撤去のはいますくにいます。
指標の推移 3経		成果指標 動指標 事 業 事 一般財源 特定 (人数) 所要 人人数(所要 人件事	2	の数値の数値の数値を表している。 の数値を表している。 を表している。 をましている。 をましていていている。 をましていている。 をましている。 をましている。 をましている。 をましている。 をましている。 をましている。 をましている。	A 件 件 件 内 円 円 円 円 円 円 円 円 円	既設 新設 の生活の安 191 131 60	不明 大明 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇	部 (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	不能 既設 1 新設 撤去 3ため、利 201,35 144,35 57,00 0. 0. 824,40	明 3300 44 9 22 22 00 00 00 00	教を維持	既設新設表 180 Of きする。 185 117 68	不明 (((((((((((((((((((新設 1 撤送 1 撤送 2 に設定した。 ※人人いた。 ※人人いは会 単年では時間ではらず、作間間計出手当時では時間がはいる。 (「実際などのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	SO	新設 1 (大)	撤去のはいますくにいます。
指標の推移 3経		成果指標 手 標 事 解 特 で () 数 () 所要 人 人 件 費 ー の で の で の で の の で の の の の で の の の の の	② 日標 ひと ③ 5 受益 日 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	の数値の数値を	人 件 件方者 世 円 円 円 人 人 円 円 円	既設 新設 の生活の安 191 131 60	不明 大明 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇	部 (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	不能 既設 1 新設 撤去 3ため、利 201,35 144,35 57,00 0. 0. 824,40	明 3300 44 9 22 22 00 00 00 00	教を維持	既設新設表 180 Of きする。 185 117 68	不明 (((((((((((((((((((新設 1 撤送 1 撤送 2 に設定した。 ※人人いた。 ※人人いは会 単年では時間ではらず、作間間計出手当時では時間がはいる。 (「実際などのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	SO	新設 1 (大)	撤去のはいますくにいます。
指標の推移 3経費		成果指標 書	②	の数値の数値の数値の数値を表している。 ままま は は は は は は は は は は は は は は は は は	A 件 件 件 内 円 円 円 円 円 円 円 円 円	既設 新設 の生活の安 191 131 60	不明 大明 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇	部 (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	不能 既設 1 新設 撤去 3ため、利 201,35 144,35 57,00 0. 0. 824,40	明 3300 44 9 22 22 00 00 00 00	教を維持	既設新設表 180 Of きする。 185 117 68	不明 (((((((((((((((((((新設 1 撤送 1 撤送 2 に設定した。 ※人人いた。 ※人人いは会 単年では時間ではらず、作間間計出手当時では時間がはいる。 (「実際などのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	SO	新設 1 (大)	撤去のはいますくにいます。
指標の推移 3経		成果指標 手 標 事 解 特 で () 数 () 所要 人 人 件 費 ー の で の で の で の の で の の の の で の の の の の	②	の数値の数値の数値の数値を表している。 ままま は は は は は は は は は は は は は は は は は	人 件 件方者 世 円 円 円 人 人 円 円 円	既設 新設 の生活の安 191 131 60	不明 大明 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇 大皇	部 (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	不能 既設 1 新設 撤去 3ため、利 201,35 144,35 57,00 0. 0. 824,40	明 3300 44 9 22 22 00 00 00 00	教を維持	既設新設表 180 Of きする。 185 117 68	不明 (((((((((((((((((((新設 1 撤送 1 撤送 2 に設定した。 ※人人いた。 ※人人いは会 単年では時間ではらず、作間間計出手当時では時間がはいる。 (「実際などのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	SO	新設 1 (大)	撤去のはいますくにいます。

境変化

緊急通報システム事業は東京都福祉保健局、東京消防庁及び区市町村が一体となって高齢者緊急通報システム事業を運営することにより、高齢者の生活の安全を確保し、もって在宅高齢者の福祉の増進を図ることを目的とした事業であり、当市においては、昭和62年度から実施している。平成25年度から、高齢者見守りぼっくす事業が実施され、そのなかで民間緊急通報システムを運営しているため、本事業による緊急通報システムの設置件数は減少している。

事業	名	称		高齢者日常生活	支援事業費 [緊急通報システ	テム事業]		
担当部署	• 課長	2	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮	崇

5		7成31年度中 に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意							
	識について 特になし。								
等	等								
の意									
見									
		あたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、 を記載してください。 (複数回答可)							
6	□ 取り組んだ □ 取り組まない	取組手法:							
市民協		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:)⑦後援・場の提供 ⑧その他()							
働	(2)令和2年度に向け、	さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点							
	(1)平成31年度に課題	夏とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)							
	引き続き、民間緊急通報	システムを希望する利用者について、円滑な移行を進めていく必要がある。							
7	(2)(1)の課題解決に	句けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。							
課		に対しては、機器更新時期に民間緊急通報システムの案内を行い、希望者には民間緊急通報システムに移行							
題	してもらっている。今年								
	(3)(2)を踏まえた今後	後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)							
	引き続き、民間緊急通報	システムを希望する利用者について、円滑な移行を進めていく必要がある。							
8	施策貢献状況(こ	の仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)							
	施策名: 高齢者保健	福祉の推進							
	□ なっている □ 環	竟の変化等により成果が減少している 🕡 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名:)							
	(1)仕事の方向性(「	7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)							
	□ 拡大 □ 現状維持	□ □							
9	【取組内容】								
·後 の	民間緊急通報システム 間緊急通報システム^	なの方がサービス内容が充実しているため、新規受付は民間緊急通報システムで対応し、今後は民なの移行を図っていく。							
方向		たり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等							
性	現事業の利用者につい	Nては、機器更新時に民間緊急通報システムへの移行を促していく。							